



災害に強い水道を目指して！

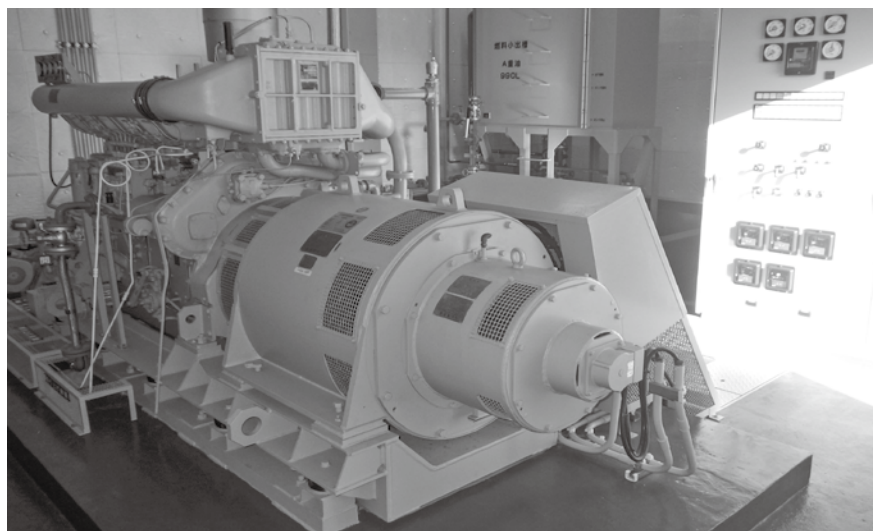


地震や台風などの自然災害が発生しても安定して水道水を供給できるよう、さまざまな取り組みを行っています。

水道施設

山武水道が所有している東金・大網・松尾配水場には、地震動レベル2（その構造物が受けるであろう過去や将来にわたって最強と考えられる地震動）に対応した配水池があり、地震に強い施設となっています。また、全ての配水場に非常用自家発電設備（72時間対応）を備え、停電が発生しても安定して水道水を届けられる体制を整えています。

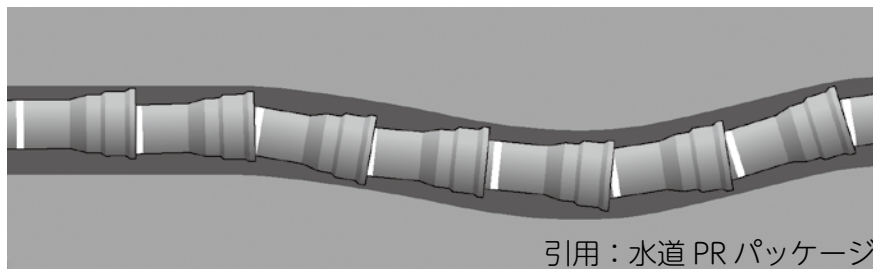
現在、更なる耐震性向上を目指し配水場内の水道管更新工事を順次行っているところです。



非常用自家発電設備（東金配水場）

水道管

現在、口径350ミリ以上の大きな水道管や災害時に対策本部となる行政機関・病院などへ繋がる水道管を重点的に耐震化する工事を行っています。また、その他の水道管につきましても、漏水が多発する路線などを優先的・計画的に更新する取組を行っています。



引用：水道 PR パッケージ

耐震管（大きな地震でも管が抜けにくい特殊な構造）

事務局

近年、地震や風水害が頻発し、広域かつ長期にわたる停電が発生する事例が増えていることを踏まえ、災害時の対策本部となる事務局庁舎において非常用自家発電設備（72時間対応）の設置工事を行っています。

今までは携帯発電機のみであり、停電時の電気機器の使用はかなり制限されていましたが、完成後は、停電時における対策本部として十分な電力が確保されることとなります。



設置途中の非常用自家発電設備（事務局）

災害訓練

大規模な災害の発生等、不測の事態においても迅速に対応できる体制を整えるため、応急給水や各配水場の非常用自家発電設備の切替えなどを定期的に訓練しています。構成市町の総合防災訓練にも参加し、住民の皆さまと応急給水訓練を実施しました。

また、令和6年能登半島地震への対応として、1月16日に組立式給水タンク2台を石川県志賀町へ搬入しました。



大網白里市総合防災訓練（給水車から応急給水をしている様子）